

6 商工費

1 商工費 1 商工総務費

[担当：産業振興課] P.180

2201 自転車活用推進事業に要する経費 350,000 円 (389,000 円)

[一財 350,000 円]

○ 目的

令和3年度に実施した市民の自転車利用実態に関するアンケート調査結果を踏まえ、自転車専門家や地域の関係団体で構成する自転車活用推進会議を通じて、市独自の自転車活用推進計画を策定する。また、自転車の安全利用や普及促進を図るセミナーを開催する。

○ 内容

自転車活用推進会議委員謝礼	315,000 円
消耗品費	10,000 円
通信運搬費	25,000 円

1 商工費 2 商工振興費

[担当：産業振興課] P.181

2001 商工業振興助成に関する経費 25,207,000 円 (25,027,000 円)

[その他 4,440,000 円 一財 20,767,000 円]

* 特財積算根拠

[使用料：駐車場使用料 1,200,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,240,000 円]

○ 目的

市内の商工会や商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展に寄与することを目的とする。

○ 内容

(1) 商店街活性化事業補助金	1,640,000 円
・商店街活性化事業補助金 7 団体	1,100,000 円
・駅周辺活性化事業補助金 3 団体	540,000 円
(2) 商工会事業補助金	19,358,000 円
・取手市商工会事業補助	16,874,000 円
・産業振興 ICT 推進事業	2,484,000 円
(3) とりで産業まつり補助金	2,000,000 円
(期 日) 令和5年11月予定	
(場 所) 取手緑地運動公園	
(参加者) 30,000 人見込	

- (4) 藤代商工祭補助金 1,000,000 円
 (期 日) 令和5年9月予定
 (場 所) 藤代地区商店会大通り
 (参加者) 3,000 人見込

[担当：産業振興課] P.181

2002 買い物弱者支援事業に関する経費 2,000,000 円 (2,000,000 円)

[その他 1,400,000 円 一財 600,000 円]

* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,400,000 円]

○目的

市内を移動販売車が巡回することにより、既存スーパーの撤退、地元商店街の衰退、市民の高齢化に伴う買い物弱者への買い物環境の改善を図る。

○内容

買い物が困難な市民に対して移動販売車にて生鮮三品等の買物の場を提供する事業者に対し、取手市買い物弱者支援事業補助金交付要綱に基づき人件費の一部を支援する。

[担当：産業振興課] P.182

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 62,510,000 円 (62,590,000 円)

[国・県 639,000 円 その他 30,000,000 円 一財 31,871,000 円]

* 特財積算根拠

[県補：茨城県災害対策融資（令和元年台風15号・19号災害特例）利子補給金補助金
639,000 円]

[諸収入：自治金融資金貸付金元利収入 30,000,000 円]

○ 目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証あっ旋をすることで、市内中小企業者の金融の円滑化を図り、企業の安定と繁栄に寄与することを目的とする。

○ 内容

茨城県信用保証協会を公的保証人とすることで事業資金の借入れを円滑にするとともに、市内金融機関に1年間の預託を行うことにより融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにする。また、制度利用者に対し、保証料を補助することで制度利用者の負担軽減を図る。

・制度の概要

制 度	自 治 金 融		振 興 金 融	
内 容	1,000 万円	返済 7 年	2,000 万円	返済 7 年
保 証 料	年 0.45～1.9% (平均で 1.15% 10 万円で約 3,200 円)			

・保証料補助の内訳

制 度	金 額	備 考
自治金融	31,384,000 円	新規 130 件、過年度 127 件
振興金融		新規 40 件、過年度 65 件
自治金融・振興金融保証債務残高 18,768,306 円 ※令和 4 年 12 月末現在		

・預託金

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	30,000,000 円	市内金融機関 6 行に預託

[担当：産業振興課] P.182

2701 中小企業育成事業に要する経費 485,000 円 (92,000 円)

[一財 485,000 円]

○ 目的

取手市の特産品を都内等で販売する機会を設けることで、取手市及び市内事業者の PR と販路拡大による地域経済の活性化を図る。

○ 内容

茨城県のアンテナショップ「イバラキセンス」へのイベント出店等で本市の特産品を PR 販売する。

・旅費	54,000 円
・消耗品費	407,000 円
・駐車場使用料	24,000 円

[担当：産業振興課] P.182

2801 産業振興に関する経費 24,395,000 円 (29,241,000 円)

[一財 24,395,000 円]

(1) 地域資源ブランド化事業

○ 目的

取手の地域資源を活用した商品を生産し、地域産業の振興を図る。

○ 内容

市内耕作放棄地でなたね等の油糧作物を栽培し、地油を生産する。

・需用費（消耗品費、搾油所及び倉庫電気代）	179,000 円
・委託料（消防設備保守点検委託料）	27,000 円
・負担金（下高井地域振興協議会負担金）	100,000 円

(2) 産業活動支援条例に基づく奨励金

○ 目的

産業活動支援条例に基づき、市内に事業所を新設又は増設する企業に対し、施設奨励金及び雇用促進奨励金を交付することにより、産業の振興及び雇用機会の拡大を図り、地域経済の活性化を図る。

○ 内容

・施設奨励金	24,023,000 円
--------	--------------

[担当：産業振興課] P.183

2804 創業支援等事業に関する経費 5,148,000 円 (5,125,000 円)

[その他 3,590,000 円 一財 1,558,000 円]

* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,590,000 円]

(1) 産業振興チャレンジ支援事業補助金 200,000 円

○ 目的

市内で起業をした事業者に対し、起業する際に必要な初期費用を補助することにより、市内での起業を促進し、地域経済の活性化を図る。

○ 内容

一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク (Match とりで) で起業家カードを発行された起業家に対して、申請に基づき、10,000 円を限度に補助金を交付する。なお、補助金の対象となる経費は、市内で提供されたサービスや商品のみとする。

(2) 市民事業活動促進補助金 1,439,000 円

○ 目的

事業者に対し、インキュベーションオフィス等の利用料金を補助することにより、市民の事業活動を促進し、市内経済の活性化を図る。

○ 内容

インキュベーションオフィス等を利用して事業活動を行う事業者に対し、その一月当たりの利用料金 (光熱水費、通信費その他事業者が実費として支払うもの及びオプションサービスにかかる費用を除く) が 10,000 円以上の場合、100 分の 50 に相当する経費を最長で連続 12 か月間補助する。

(3) 創業支援事業補助金 3,509,000 円

○ 目的

産業競争力強化法の施行に伴い、市は創業支援等事業者 (一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク) と連携して、創業支援等事業計画を作成し、各種創業支援等事業に取り組んでいる。起業でまちを元気にする、をキーワードに起業家タウン取手の実現を目指す。

○ 内容

連携創業支援等事業者である一般社団法人とりで起業家支援ネットワークが実施する創業支援事業に対し、取手市創業支援事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

[主な創業支援事業]

- ・ 創業スクール事業
- ・ ビジネスプランコンテスト事業

[担当：産業振興課] P.183

2901 空き店舗活用事業に要する経費 3,200,000 円 (3,200,000 円)

[その他 2,240,000 円 一財 960,000 円]

* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,240,000 円]

○目的

空き店舗の有効利用及びまちの賑わいづくりの促進のため、空き店舗に出店する者に対し、取手市空き店舗活用補助金交付要綱に基づき支援する。

○内容

- ・空き店舗活用事業補助金 3,200,000 円

項 目	補助率	補助対象経費の上限額
店舗改装費	2分の1以内	100万円以内 (起業家以外は50万円以内)
店舗の賃借料	2分の1以内	月額5万円以内で1年間

[担当：産業振興課] P.183

3201 わくわく取手生活実現事業に要する経費 25,755,000 円 (25,755,000 円)

[国・県 19,316,000 円 一財 6,439,000 円]

* 特財積算根拠

[県補：わくわく茨城生活実現事業補助金 25,755,000 円×3/4≒19,316,000 円]

○ 目的

東京圏から市内への移住促進、及び中小企業等における人手不足の解消を図るため、東京23区に在住又は通勤している方が、取手市へ移住し、起業や就業等を行う場合に、茨城県と共同して移住支援金を支給する。

○ 内容

東京23区に在住又は東京圏在住で23区に通勤する方が、当市に移住し、茨城県内で起業し県が実施する「地域解決型起業補助金」の交付決定を受けた場合、県が運営するサイト「いばらき就職チャレンジナビ」内の移住支援金対象求人に応募した場合、又はテレワークにより移住前の業務を継続する場合に、世帯移住100万円、単身移住60万円の移住支援金を支給する。さらに、18歳未満の世帯員を帯同する世帯の場合は18歳未満の者1人につき30万円を加算して支給する。

[担当：産業振興課] P.184

3401 中小企業振興基本条例・計画策定事業に要する経費 111,000 円 (208,000 円)

[一財 111,000 円]

○ 目的

「取手市中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、中小企業・小規模企業の振興施策を総合的かつ計画的に推進し今後の包括的な産業振興を実現すべく、「(仮称)第2次取手市産業振興戦略プラン」の策定準備を行う。

○ 内容

- ・消耗品費 77,000 円
- ・通信運搬費 34,000 円

1 商工費 3 労働対策費

[担当：産業振興課] P.184

2001 労働対策に関する経費 8,172,000 円 (14,640,000 円)

[その他 3,010,000 円 一財 5,162,000 円]

* 特財積算根拠

[諸収入：生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金元利収入 3,000,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,000 円]

(1) 取手市地域職業相談室の運営に関する経費

○ 目的

平成 19 年 10 月開設の取手市地域職業相談室（通称：取手市ふるさとハローワーク）において、国と市が連携しながら、職業相談、職業紹介サービスを提供し、安定した雇用機会の確保、就職の促進を図る。また、「とりで起業家支援ネットワーク」や「とりで生涯現役ネット（取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会）」と連携し、就労支援の充実を図る。

○ 内容

取手駅前商業施設に設置し、国と市の共同で管理運営を行う。

業務時間	毎週月～金曜日 午前 10 時～午後 5 時		
主な業務	職業相談、職業紹介と求人情報の提供		
相談員	国 2 名	受付事務	市 2 名

・会計年度任用職員報酬 2,044,000 円

・地域職業相談室賃料 2,298,000 円

(2) 生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金 3,000,000 円

○ 目的

地域の実情に応じた高年齢者の多様な就業機会を確保するために、厚生労働省職業安定局委託事業である「生涯現役地域連携事業」を受託する、取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会に対し、事業実施に必要な事業費を貸付けする。

○ 内容

- ・総合相談事業（コンシェルジュ事業）
- ・高年齢者雇用新規開拓・啓発事業
- ・シンポジウム事業
- ・セミナー・スクール事業

1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費

[担当：産業振興課] P.185

2001 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理運営に要する経費 13,482,000 円

(12,428,000 円)

[その他 1,274,000 円 一財 12,208,000 円]

＊ 特財積算根拠

[使用料：施設使用料 1,242,000 円]

[手数料：コピー手数料 13,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 6,000 円]

[諸収入：印刷機使用料 13,000 円]

○ 目的

利用者が余暇を使い趣味の活動や学習活動をするために運営し、施設を良好な状態に保つために維持管理を行い、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

働く婦人の家の適切な維持管理を行う。主な経費は、会計年度任用職員報酬、需用費、委託料である。

- ・会計年度任用職員報酬 3,727,000 円
- ・需用費 6,421,000 円（光熱水費、修繕料ほか）
- ・委託料 2,650,000 円（施設の清掃管理委託、夜間管理委託ほか）

1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：産業振興課] P.187

2001 消費生活対策に要する経費 12,144,000 円（11,965,000 円）

[国・県 929,000 円 その他 44,000 円 一財 11,171,000 円]

＊ 特財積算根拠

[県補：消費者行政強化事業及び推進事業費補助金 929,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 44,000 円]

○ 目的

消費者の利益の擁護及び増進に関する対策の推進を図り、消費生活に係る知識の普及と情報の提供に努め、市民の消費生活の安定と向上を確保することを目的とする。

○ 内容

(1) 消費生活展実施委託料 650,000 円

消費生活展は、消費者団体等が、消費生活に関する題材を多面的かつ具体的に取り上げ、市民へ情報提供や消費者力向上を目的とし、開催する。

(2) 消費生活センター相談業務

一般消費者（市民）からの商品やサービスの契約及び多重債務等の消費生活トラブル相談、苦情、問合せを受け付け、専門的な知識を持つ消費生活相談員が、助言・あっせん・情報提供等を行う。

業 務 日	月曜日～金曜日
相談時間	午前 9 時～午後 4 時
相談員数	3 人

(3) 消費者トラブル等未然防止啓発事業

一般消費者（市民）への悪質商法や特殊詐欺等の消費者被害の防止、拡大防止に努める。また、一人一人の消費者が安全で安心した消費生活を営むことができるよう、高齢者向け・若者向けキャンペーン、消費者セミナー、消費者教育、出前講座等の啓発事業を実施する。

1 商工費 6 観光費

[担当：産業振興課] P.188

2001 観光事業に関する経費 39,306,000円（39,325,000円）

[その他 26,880,000円 一財 12,426,000円]

* 特財積算根拠

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 26,880,000円]

○ 目的

取手市の魅力を全国に発信し、観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業への助成等を行い、郷土愛の高揚に貢献する。

○ 内容

- (1) 小堀古利根周辺の清掃管理委託料 360,000円
- (2) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 523,000円
(茨城県国際観光テーマ地区推進協議会負担金 70,000円含む)
- (3) 市観光協会補助金 38,403,000円
 - 観光協会一般補助金 4,123,000円
 - 花火大会補助金 30,080,000円
 - たこあげどんどまつり補助金 2,050,000円
 - 桜ライトアップ事業補助金 850,000円
 - 取手駅前にぎわい創出事業補助金 1,300,000円

観光協会主催イベント

イベント名	実施予定期日	場 所	来場者見込
第 68 回とりで利根川大花火	令和 5 年 8 月中旬	取手緑地運動公園	100,000 人
第 55 回とりで利根川 たこあげ大会	令和 6 年 1 月中旬	取手緑地運動公園	2,500 人
第 54 回とりで利根川 どんどまつり	令和 6 年 1 月中旬	取手緑地運動公園	2,500 人
第 11 回とりで観光フォト コンテスト	令和 6 年 2 月中旬	ふじしろ図書館	—
第 5 回取手駅前にぎわいフェスタ	令和 6 年 3 月下旬	取手ウェルネス プラザ	2,500 人
第 20 回桜ライトアップ事業	令和 6 年 3 月下旬	老人福祉センター 「さくら荘」	2,500 人